

授業科目 精神保健福祉援助技術各論

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	社会・作業
伊東正裕・柴山悦子・横山豊治		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	4	時間数	60
<一般目標：G I O> 精神障害者と家族が抱える生活上の問題に適切な援助ができるようになるために、それらの問題を理解し、問題解決のための援助技術を習得する。					
<行動目標：S B O> 1. 精神障害者を対象としたケースワークの方法を説明できる 2. 事例を用いて援助過程を説明したり、討議したりすることができる 3. ケースワークにおけるスーパービジョンの意義を説明することができる 4. 精神障害者に対するグループワークの方法を説明できる 5. グループワークにおけるスーパービジョンの意義を説明できる 6. 精神障害者を対象としたコミュニティワークの方法を説明できる 7. ケアマネジメントの方法を説明できる 8. チームにおけるP S Wの役割を説明できる					
回数	授業計画又は学習の主題	S B O			
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	オリエンテーション		講義他		
2	精神障害者に対するケースワークの意義を理解し、その具体的方法の概略を学ぶ	1	講義		
3	事例を通してケースワークを学ぶ～病院の事例	2	講義	外部講師	
4	援助方針の立て方やスーパービジョンについて学ぶ	3	講義		
5	事例を通してケースワークを学ぶ～保健所の事例	2	講義	外部講師	
6	援助方針の立て方やスーパービジョンについて学ぶ	3	講義		
7	精神障害者に対するグループワークの意義を理解し、その具体的援助方法の概略を学ぶ	4	講義		
8	デイケアのプログラムやその実際を学ぶ	4	講義	外部講師	
9	生活技能訓練の方法を学ぶ	4	講義		
10	生活技能訓練の実際を学ぶ	4	講義	外部講師	
11	グループワークにおけるスーパービジョンの意義を理解する	5	講義		
12	精神障害者に対するコミュニティワークの意義を理解し、その具体的方法を学ぶ	6	講義		
13	地域の組織化や社会資源の活用・開発について学ぶ	6	講義	外部講師	
14	地域における連携の必要性について学ぶ	6	講義		
15	セルフヘルプグループについて学ぶ	6	講義		
16	セルフヘルプグループの実際を学ぶ	6	講義	外部講師	
17	家族会について学ぶ	6	講義		
18	家族会の実際を学ぶ	6	講義	外部講師	
19	精神障害者のケアマネジメントについて学ぶ	7	講義		
20	ケアマネジメントの意義と留意点を学ぶ	7	講義	外部講師	
21	ケアマネジメントのプロセスについて学ぶ	7	講義		
22	ケアチームのチームワークの実際について学ぶ	8	講義	外部講師	
23	チーム医療におけるP S Wの役割について学ぶ	8	講義		
24	精神病院におけるP S Wの業務内容について学ぶ	8	講義		
25	県下の精神保健福祉の実情		講義	外部講師	
26	学生によるまとめ①		講評		
27	学生によるまとめ②		講評		
28	まとめ		講義		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書		精神保健福祉援助技術各論	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編	へるす出版	3 2 0 0 円
参考書					
その他の資料		適宜配布する			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況	定期試験	外部講師を招聘するため講義や技術指導の順序が入れ替わる場合がある			
学習態度	レポートの提出状況	技術指導についてはビデオも使用する			